

科目名称：	ファッションデザイン演習	
担当者名：	成瀬美子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
あらゆる芸術表現において衣服表現は重要である。時代背景や社会的地位、人物のアイデンティティなど衣服表現によって多くの事を物語ることが可能である。この授業では現代服の成り立ちである西洋服装史を切り口にファッションデザイン表現を学んでいく。時代ごとのファッションに自らの解釈を加え、ファッションデザイン画として表現することで、創造の幅と奥行きを深めていく。		
授業の達成目標・到達目標		
ヨーロッパの服装の変遷を時代背景とともに理解し、デザインソースとして咀嚼し自己の表現へと発展させる。時代とファッションの関わりを知り、ファッションが持つ社会的役割にまで考察を深め、重要な文化であることを理解する。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	積極性	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			80	20	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 成瀬美子/デザイナー、パタンナー、	《経験年数1》 24年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業の理解	各時代の背景や文化的特徴を理解でき、自分なりの考察を持つことができる。	各時代の背景や文化的特徴を理解できる。	各時代の背景や文化的特徴を部分的に理解できる。	各時代の背景や文化的特徴が理解できない。
デザイン表現	各時代の特徴を自分なりに解釈し、より昇華させたデザイン画が描ける。	各時代の特徴をとらえ、独自の表現でデザイン画を描くことができる。	テーマに則した独自のデザイン画が描ける。	テーマに則したデザイン画を描く事が難しい。
積極性	映画や絵画など授業外で情報収集し、より深く探求する姿勢がある。質問を積極的に行う。	興味のある時代について情報収集するなど、自発的な探求が見られる。	授業内容をノートにまとめておくことができる。	集中して授業に参加する意思が見られない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 衣服の成り立ち・衣服の役割	なぜ人は服を着るのかについて考察しておく	40分
第2回 古代エジプト	古代エジプト時代について調べておく	40分
第3回 古代ギリシア・ローマ	古代ギリシア・ローマ時代について調べておく	40分
第4回 中世ロマネスク・ゴシック	ゴシックについて調べておく	40分
第5回 ルネサンス	ルネサンス絵画を観ておく	40分
第6回 ロココ	マリー・アントワネットについて調べておく	40分
第7回 19世紀 ロマンティック～ベルエポック	アールヌーボーについて調べておく	40分
第8回 1920年代ギャルソンヌスタイル～1930年代シネマモード	1920年代ファッションを調べておく	40分
第9回 ミリタリーファッション	軍服について調べておく	40分
第10回 1950年～60年代 音楽とファッション	1950～60年代ファッションについて調べておく	40分
第11回 1970年代 ヒッピー・グランジファッション	1970年代ファッションについて調べておく	40分
第12回 1980年代 アイドル～ボディコンシャス	1980年代ファッションについて調べておく	40分
第13回 1990年～2000年代 トレンドのない時代	1990年代ファッションについて調べておく	40分
第14回 現在・今のリアルを描く	現在のトレンドファッションについて調べておく	40分
第15回 未来を描いてみる	近未来のファッションをイメージしておく	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
毎回デザイン画の提出を課題とする。 課題80% 授業への積極性20%とする。

課題に対するフィードバック

次週コメントを付けて返却する。

教科書・参考書

テキストは使用しない。毎回プリントを配布し、各自ファイルにまとめてもらう。